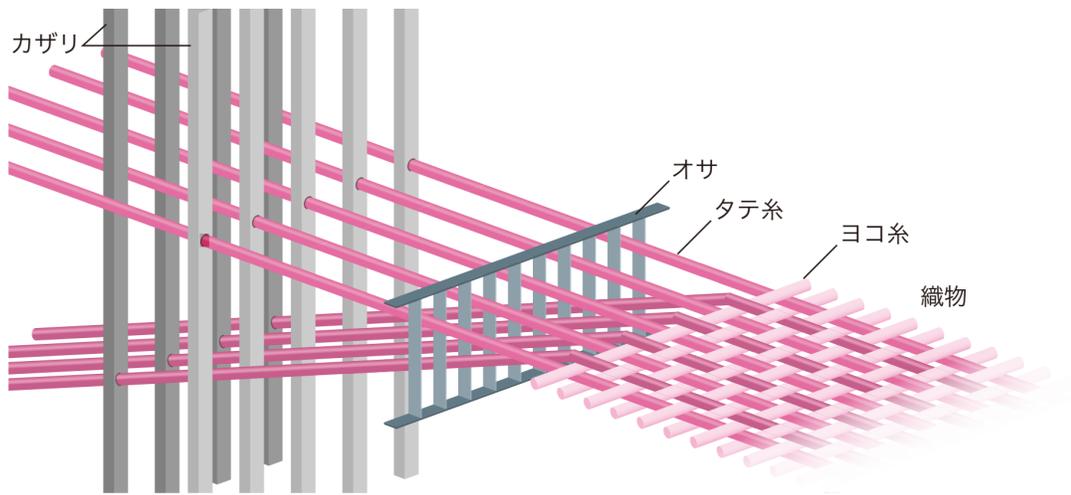


織物の製法

美しい織物づくりのしくみ

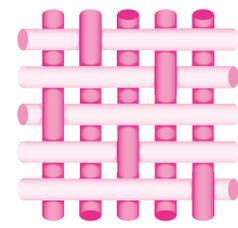
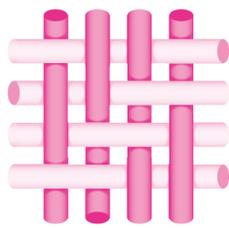
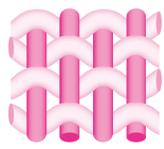
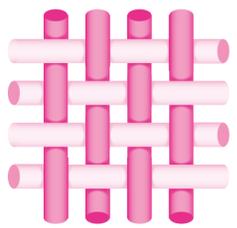
- 糸を経緯(タテヨコ)に交錯させて仕上げた布地を「織物」といいます。
- 織物のタテ方向にある糸をタテ糸、織物の巾方向にある糸をヨコ糸といいます。
- 糸の種類や組み合わせ方法(織物組織)を変えることで、さまざまな種類の織物をつくることができます。
- 基本となるのは平組織、斜文組織、朱子組織の三原組織です。



平組織

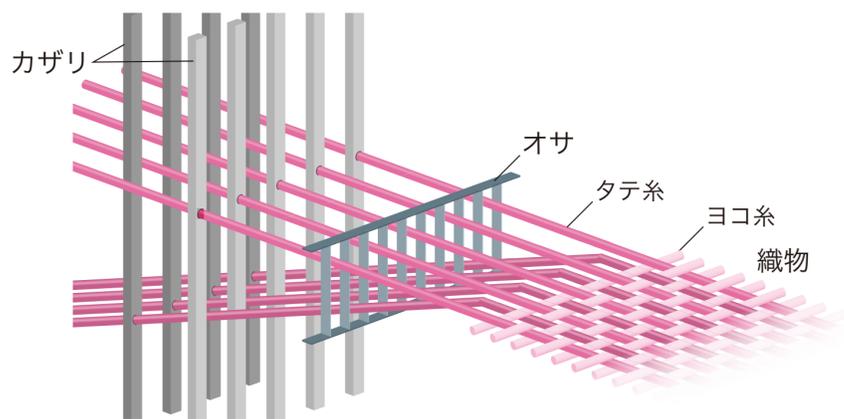
斜文組織

朱子組織



裏面

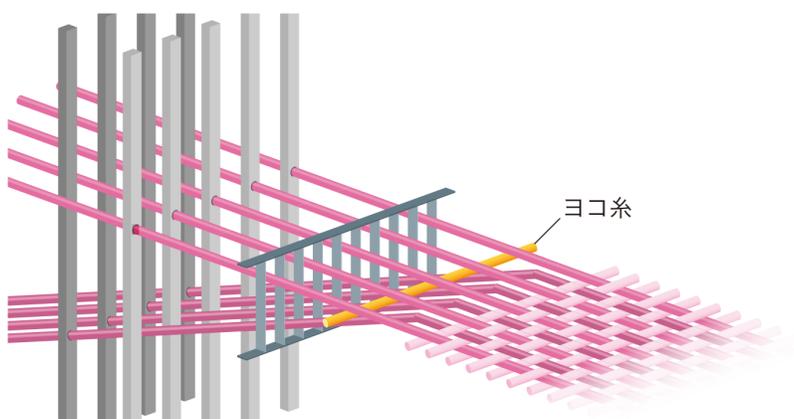
表面



1

開口運動

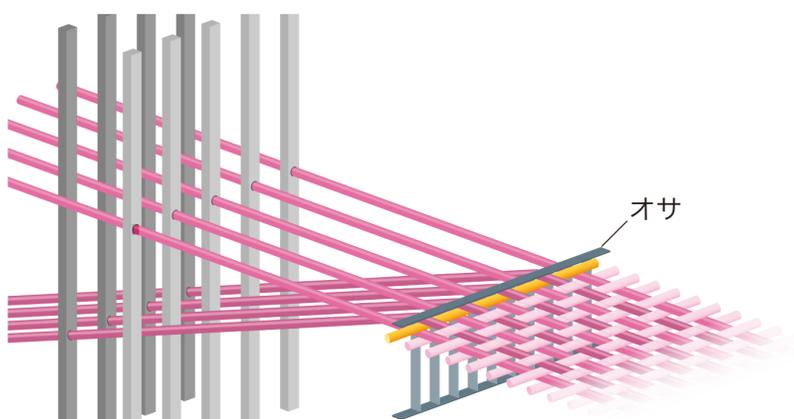
穴に糸の通ったカザリが上げられ、タテ糸に開口部分ができます。



2

ヨコ糸挿入

開口部分にヨコ糸が挿入されます。上下のタテ糸に引っかからないようにヨコ糸を織物の幅分入れていきます。



3

オサ打ち

開口部に挿入されたヨコ糸をオサ打ちによって、織物手前に送り出します。オサは織物の幅と密度を決め糸を送り出す重要な役割を果たします。